

平成18年度 川崎市産業振興会館の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人川崎市産業振興財団 (川崎市幸区堀川町66-20 川崎市産業振興会館6F)
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・企業間の情報交流の促進並びに産業情報の収集及び提供に関すること。 ・情報の高度化に対応する企業の技術振興及び人材育成に関すること。 ・市内企業の製品の展示及び販路開拓の相談に関すること。 ・施設及び設備(以下「施設等」という。)の利用に供すること。 ・産業経済の調査研究に関すること。 ・その他設置目的を達成するために必要な事業を行うこと。

2 事業執行(管理運営)に対する評価

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
<p>(1) 管理運営業務の実施状況</p> <p>産業振興に関する業務</p> <p>ア 企業間の情報交流の促進並びに産業情報の収集及び提供に関する業務</p> <p>イ 情報の高度化に対応する企業の技術振興及び人材育成に関する業務</p>	<p>「産業情報かわさき」を発行し、市内中小企業に対して、産業情報の提供を行うとともに、産業情報コーナーを開設し、来館者に対して、市内中小企業の情報や産業情報の提供を行った。</p> <p>また、「産業バンクかわさき」をインターネット上に開設し、川崎市や産業振興財団の行っている事業の紹介など、各種情報の提供を行った。</p> <p>「新分野・新技術支援研究会」として、5つの研究会を開催することで、研究会会員企業の技術力向上、販路拡大等の支援を行うとともに、パソコン研修や品質・環境管理支援研修など、中小企業の人材育成に資する各種講座を開催した。</p> <p>また、次世代産業を担う技術者の育成、技術レベルの向上を図ることを目的として、「第13回かわさきロボット競技大会」を開催した。</p>	<p>多くの市内中小企業者へ産業情報等の情報を提供するための各種事業を行っており、評価することができる。</p> <p>今後も、中小企業者へ提供する産業情報の更なる充実を図るとともに、より多くの市内中小企業者に情報が行き渡るよう努めることを望む。</p> <p>企業の技術力向上、販路拡大や中小企業の人材育成の支援をするため、各種研究会、研修講座等を開催し、特に、かわさきロボット競技大会については、大会を開催するのみではなく、小中学生向けのロボットづくり教室の開催やロボット技術交流会の開催など、ロボット大会を通じて、「ものづくり」を広く市民に普及させていることなどから、全体としておおむね評価することができる。</p> <p>今後は、「新分野・新技術</p>

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
<p>ウ 市内企業の製品の展示及び販路開拓の相談に関する業務</p> <p>エ 産業経済の調査研究に関する業務</p> <p>施設等の管理に関する業務</p>	<p>市内企業の企業情報データや受発注情報を掲載した「かわさきデータベース」の運営や会館1階ロビーでの市内企業製品の展示を行うなど、販路拡大支援を行った。</p> <p>川崎市内中堅中小企業経営実態調査など各種調査を実施することにより、市内企業の実態を明らかにし、産業政策立案に資する基礎資料としての報告書の作成を行った。</p> <p>施設等の利用申請について適切に処理し、各種保守点検、清掃業務等を専門業者へ委託し、安全、安心な施設管理に努めた。</p>	<p>支援研究会」の会員増強、各種研修講座の受講者の増加を図るなど、より一層市内中小企業の販路拡大、人材育成に資するよう、努めることを望む。</p> <p>市内企業の販路拡大のため、かわさきデータベース登録企業数の更なる増加に努めることを望む。</p> <p>市内中小企業の経営実態を把握するための調査を実施し、報告書の作成が行われており、企業を取り巻く環境変化など、今後も引き続きタイムリーな調査を行うことを望む。</p> <p>適正に施設の管理が行われており、今後も安全・安心な施設管理を継続して行うことを望む。</p>
(2) 利用状況	<p>多目的ホール：68.9%（目標値70.0%） 企画展示場：60.5%（目標値52.7%） 研修室：70.6%（目標値59.9%） 会議室：52.0%（目標値49.5%） 会館合計の利用率は、59.0%と目標値53.8%を上回ったが、多目的ホールについては、目標値70.0%を下回った。</p>	<p>多目的ホールの利用率が当初の目標値を下回ってはいるが、会館全体では、利用率の目標値を上回っており一定の評価はできる。</p> <p>今後も、多目的ホールの利用率向上を図ると共に、会館全体の利用率の更なる向上を図ることを望む。</p>

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
(3) 収支状況	収入金額 239,891,922 円 (1)指定管理費 173,956,000 円 (2)利用料金収入 39,215,085 円 (3)事業収入 19,503,000 円 (4)その他収入 7,217,837 円 支出金額 236,445,335 円 (1)事業費 58,739,983 円 (2)施設管理費 173,958,572 円 (3)その他支出 3,746,780 円 次期繰越収支差額 3,446,587 円	利用率が目標値を上回ったことにより、利用料金収入が当初見込み額よりも増加したので、今後も、引き続き利用率の向上を図るとともに、サービス水準を維持しつつ、経費削減に努めることを望む。
(4) その他	利用者アンケートを実施し、利用者の意見、要望等の把握に努め、「川崎市産業振興会館サービス向上委員会」にて、アンケートに結果について検証し、対応した。 (例)CDデッキの貸出をして欲しい。 貸し出しを開始。 (例)プリンターを利用したい。 6階の受付で対応。	新たに第三者委員会を設置し、利用者からの意見、要望を会館サービスの向上に反映させようとする姿勢は評価できる。
個人情報の保護	業務の性質上、多くの個人情報を扱っているため、(財)川崎市産業振興財団個人情報保護に関する規程等を整備し、個人情報の適正な管理を行うよう努めた。	個人情報の保護については、その重要性を十分認識し、対応しているため、評価できる。

3 事業執行（管理運営）に対する全体的な評価

川崎市産業振興会館は、企業間における情報交流、企業の技術開発、販路開拓事業の推進等を図り、本市産業の発展と地域経済の活性化に寄与することを目的として設置された会館である。

これら会館設置目的を達成するため、市内企業の技術力向上や人材育成支援など、市内企業の育成に資する各種事業を行っており、評価することができる。また、施設の管理、貸出しについても、新たに土曜日、日曜日の開館も開始し、川崎市産業振興会館サービス向上委員会を設置して、利用者からの意見・要望を会館運営に反映させようとするなど、利用者に対するサービス向上に努めており、評価することができる。

以上のことから、全体としても良好な管理運営が行われており、評価することができる。

4 来年度の事業執行（管理運営）に対する指導事項等

会館利用者の意見、要望をアンケート調査などを通じて収集し、その意見等に応えることにより、サービスの向上を図り、更なる会館の利用率向上に努めるよう望む。

また、市内企業の育成を図れるような各種事業の実施を引き続き行うとともに、市内事業者が活用できる有用な情報を幅広く集め、多くの事業者に提供できるように、工夫することを望む。